

# チーム えがお



発行者:校長 岡田 達也

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』  
 ☆「かしく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

## ～ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん 「チーム北川」～ 岡山シーガルズのみなさんから 大事なことを学びました!



### 『人権スポーツふれあい教室』開催 ①

2日(木)の3・4時間目、6年生と5年生の子どもたちは、「人権スポーツふれあい教室」に参加しました。この教室は、笠岡市(倉敷人権啓発活動地域ネットワーク協議会)が主催し、子どもたちとスポーツ選手との交流の場を設け、スポーツ選手から子どもたちに自らの体験談を踏まえた人権に関わるメッセージを伝えることで、子どもたちの人権についての理解を深めることを目的に開催されました。昨年度に北川小学校として応募し、開催の運びとなりました。

この日は、岡山シーガルズのみなさんをはじめ、人権擁護委員のみなさん、岡山地方法務局笠岡支局の方、そして計画段階からお世話になった笠岡市市民生活部人権推進課のみなさんにお越しいただきました。お忙しい中、岡山シーガルズからは、泉夏子選手(55番)、川畑愛希選手(8番)、東万純選手(23番)の3選手と、神田千絵アシスタントコーチがわざわざ来てくださいました。5・6年生の子どもたちはこの日のために準備を進め、歓迎のプラカードを持って運動場で選手のみなさんをお迎えしました。

その後、体育館で開会行事を行い、選手によるパスやレシーブ、アタック、サーブなどのデモンストレーション、そして子どもたちが運動会で踊ったサンバをみなさんと一緒に踊り仲良くなったのち、4チームに分かれてレシーブやパスの練習をし、ミニゲームで楽しく汗を流しました。岡山シーガルズのみなさんに、直接ご指導いただける機会に子どもたちもとってもうれしそうでした。ゲーム終了後に、みなさんから子どもたちに次のようなメッセージをいただきました。

☆55番・泉 夏子 選手

自分の夢をもって、命を大切にしながらがんばってほしい。

☆ 8番・川畑 愛希 選手

みんな一人一人ちがうのはいいこと。互いに思いやることが大切。

☆23番・東 万純 選手

自分は周りの人に支えられている。だから、今できることをがんばってほしい。

☆神田 千絵 アシスタントコーチ

自分をだめだと思わないで、あきらめずに努力してほしい。



子どもたちは、4人のみなさんからのメッセージに真剣に聞き入り、心でしっかりと受け止めていました。自分の子どもの頃からの夢に向かって努力しているみなさんの言葉は、とても説得力がありました。後半には、人権イメージキャラクターの人KENまもる君と人KENあゆみちゃんも登場し、とても楽しく有意義な会となりました。

私は、これからも学校だけではできない貴重な体験の機会や場を設けていきたいと考えています。子どもたちは、いろいろな方々との関わりを通して、教室では学べない大切なものを学んでいきます。今回の人権スポーツふれあい教室は、とってもよい学びの機会となりました。